

## 引用文献解説表

標題： Effect of Omega-3 Dosage on Cardiovascular Outcomes: An Updated Meta-Analysis and Meta-Regression of Interventional Trials

著者： Aldo A. Bernasconi, Michelle M. Wiest, Carl J. Lavie, Richard V. Milani, Jari A. Laukkanen

掲載誌： *Mayo Clin Proc.* 2021;96(2):304-313

目的： エイコサペンタエン酸（EPA）とドコサヘキサエン酸（DHA）が心血管疾患（CVD）に及ぼす影響とその投与量依存性を検討すること。

要旨： 方法：この研究で、EPA / DHA 補給によるランダム化比較対照試験を統合して解析するメタアナリシスと投与量を検討する回帰分析を行った。2019年8月に公開されたEPA / DHAを被験物質とする介入と心血管転帰をとまなうすべてのランダム化比較試験を対象にし、Abdelhamidらが公開したメタアナリシスの更新および投与量の影響に関する定量化を新たに行った。含まれるアウトカム\*は、心筋梗塞（MI）、冠状動脈性心臓病（CHD）イベント、CVDイベント（MI、不安定狭心症、脳卒中、心不全、末梢動脈疾患、突然死、および外科的心血管介入の複合）、致命的なMIおよびCHD死亡率であった。エビデンスの強度は、エビデンスの確実性（質）と推奨の強さをGRADEを使用し、系統的に評価した。

結果：計135,267人の被験者による合計40件の研究が考慮された。EPA / DHAの投与は、MIの低下、CHDイベントの低下、致命的なMIの低下およびCHD死亡率の低下をもたらしたが、CVDイベントは低下したが有意でなかった。（下表）

表 メタアナリシスの結果

| アウトカム    | 相対リスク | 95%信頼区間   | GRADE   |
|----------|-------|-----------|---------|
| MI       | 0.87  | 0.80~0.96 | 高い確実性   |
| CHD イベント | 0.90  | 0.84~0.97 | 高い確実性   |
| 致命的なMI   | 0.65  | 0.46~0.91 | 中等度の確実性 |
| CHD 死亡率  | 0.91  | 0.85~0.98 | 低い確実性   |
| CVD イベント | 0.95  | 0.90~1.00 | -       |

投与量の回帰分析では、投与量を1g/日増加させるごとに、CVDイベントが5.8%有意に低下し（ $P < .01$ ）、MIが9.0%有意に低下した。つまり、CVDイベントとMIの抑制の効果はEPA / DHA用量に依存した。

結論：EPAとDHAの投与は、世界中の主要な死因であるCVDの予後を改善するためのライフスタイル変容を促す効果的な戦略であり、またCVDの保護効果は投与量とともに増加することが明らかとなった。

注\*：結果、成果。合併症の発生率、再発率や死亡率など、治療や予防による臨床上的成果を指す。